

政策分析シート（令和7年度）

政策名	地球環境を守るまちの実現	政策No	07	部名	環境清掃部		
関連部名	総務企画部、管理部			部長名	三枝	内線	480
行政評価事業体系	分野	Ⅳ 環境先進都市					

目的 ○荒川区を、そして、かけがえのない地球を、よりよいものとして将来の世代へ引き継ぐため、「環境先進都市あらかわ」の実現を「環境区民」の共通の目標として掲げ、協働して環境の保全に取り組む。このため、環境への負荷が少ない省エネルギー・省資源型のライフスタイルへの変換を促進することにより、持続可能な脱炭素社会及び循環型社会の実現を目指す。

指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		4年度	5年度	6年度			
	①	持続可能性	3.35	3.42	3.37	あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？	
	②	周辺環境の快適さ	3.13	3.08	3.07	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？	
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
⑦							
指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度 見込み	目標値 (8年度)	
①	区全体のエネルギー消費量 (単位：TJ)	6,405	—	—	6,125	6,079	令和5～6年度は集計中
②	区全体の温室効果ガス排出量 (単位：千t-CO ₂ eq)	595	—	—	521	498	令和5～6年度は集計中
③	区施設温室効果ガス排出量 (百t-CO ₂)	128	132	—	112	105	「荒川区役所エコアクティブプラン」に基づく。6年度は集計中
④	区民1人1日当たりの総排出量 (kg)	765	741	719	696	673	総排出量＝総ごみ量＋資源回収量
⑤	食品ロスの削減　もったいない協力店登録数(店)	152	153	150	170	180	店舗数
⑥							
⑦							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
行政費用	給与関係費	699,909	682,826	▲ 17,083	地方税等		0	0
	物件費	1,510,593	1,617,731	107,138	国庫支出金	1,172	675	▲ 497
	維持補修費	4,708	12,530	7,822	都支出金	25,189	25,813	624
	扶助費		0	0	分担金及び負担金		0	0
	補助費等	1,402,485	1,441,144	38,659	使用料及び手数料	191,387	197,448	6,061
	減価償却費	56,657	57,545	888	その他行政収入	86,155	76,976	▲ 9,179
	不納欠損・賞引当金繰入額		0	0	行政収入合計(a)	303,903	300,912	▲ 2,991
	賞与・退職給与引当金繰入額	111,699	66,396	▲ 45,303	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 3,482,148	▲ 3,582,890	▲ 100,742
	その他行政費用		5,630	5,630	金融収支差額(d)	▲ 304	▲ 268	36
	行政費用合計(b)	3,786,051	3,883,802	97,751	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 3,482,452	▲ 3,583,158	▲ 100,706
特別費用	特別費用(g)		0	0	特別収入(f)		0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 3,482,452	▲ 3,583,158	▲ 100,706
貸借対照表	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
	収入未済		0	0	流動負債	72,902	74,111	1,209
	不納欠損引当金		0	0	還付未済金		0	0
	その他の流動資産		0	0	特別区債	36,293	36,329	36
	有形固定資産	2,301,021	2,360,328	59,307	賞与引当金	36,609	37,782	1,173
	土地	1,526,421	1,591,311	64,890	その他の流動負債		0	0
	建物	1,713,137	1,764,364	51,227	固定負債	896,095	839,009	▲ 57,086
	建物減価償却累計額	▲ 991,415	▲ 1,046,259	▲ 54,844	特別区債	240,476	204,147	▲ 36,329
	工作物等	144,218	144,218	0	退職給与引当金	655,619	634,862	▲ 20,757
固定資産	工作物等減価償却累計額	▲ 91,341	▲ 93,306	▲ 1,965	その他の固定負債		0	0
	無形固定資産		0	0	負債の部合計	968,997	913,120	▲ 55,877
	建設仮勘定	17,764	0	▲ 17,764	正味財産	1,351,640	1,449,764	98,124
	その他の固定資産	1,852	2,556	704	正味財産の部合計	1,351,640	1,449,764	98,124
資産の部合計		2,320,637	2,362,884	42,247	負債及び正味財産の部合計	2,320,637	2,362,884	42,247

財務諸表に関する特徴的事項等

○地球温暖化対策や清掃リサイクル事業を行っており、そのうち約4割をごみの収集運搬等に係る物件費が、約4割を清掃一部事務組合に拠出する分担金等にあたる補助費が占めている。
○貸借対照表に計上されている有形固定資産は、エコセンター、リサイクルセンターに関するものである。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	○東日本大震災以降、再エネへの転換やエネルギーの多様化が求められている。また、2015年の国連サミットでは「SDGs」が採択され、世界的に取り組むべき環境分野の目標として「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や「気候変動に具体的な対策を」などが掲げられている。 ○区は、令和3年に「ゼロカーボンシティ」を表明し、さらに令和4年度には「荒川地球温暖化対策推進条例」の制定や「荒川区地球温暖化対策実行計画」の改定を行い、脱炭素社会の実現に向けた実効性のある施策に取り組んできた。 ○区は、地域特性を活かして、全国に先駆けて資源の行政回収を停止し、区民・事業者・区の協働による「あらかわ方式」を確立する等リサイクル先進自治体としての取組を行ってきた。
課題	○環境負荷を軽減していくためには、区民参加が不可欠である。区民一人一人が環境に関心を持ち、正しい知識のもとに環境負荷の軽減に取り組んでもらえるよう、最新の知見に基づく時宜にかなった情報提供や啓発活動に取り組む必要がある。 ○地球温暖化対策の実施に向けては、生活様式の見直しや省エネ行動等を区民により具体的に提示していくとともに、事業者に対するアプローチをさらに充実させていく必要がある。 ○総ごみ量の更なる削減のため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）に重点的に取り組む必要がある。また、総ごみ量の減少のための実効性のある啓発を進める必要がある。
今後の方向性	○地域のコミュニティを生かした、様々な地球温暖化・ヒートアイランド対策を荒川区から発信し、地球環境対策をリードする。 ○区民の環境に対する意識を高めるとともに、次代を担う子どもたちへの環境教育を推進する。 ○再生可能なエネルギーや資源の活用など持続可能な社会の構築に向けた新たな取組を支援する。 ○災害時での活用も想定しながら、地球環境に優しい機器等の導入を推進する。 ○区民、事業者及び行政が一体となって、循環型社会の実現に向けて取り組み、限りある資源の有効活用を図っていく。 ○総ごみ量の削減に向け、区全体としてプラスチックの使用抑制を更に取り組むとともに、可燃ごみの多くを占める厨芥ごみの減量と食品ロスの削減を一体的に推進する。

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
温暖化対策の推進	重点的に推進	重点的に推進	区は住民に最も身近な基幹自治体として、区民・事業者とともに環境負荷軽減の取組を進め、地域環境と地球環境を守り育む責務がある。「環境先進都市」を目指す荒川区として本施策の重要性は高い。
資源循環型社会の形成	重点的に推進	重点的に推進	区民、事業者と行政が一体となり、3Rの視点に立った、循環型社会の実現を目指す施策を重点的に推進する。
ごみの適正処理の推進	推進	推進	区民の生活環境の保全や、快適な生活の提供のため、更なる廃棄物の適正かつ確実な処理に努める。